

## プレスリリース 2023年12月

### 一緒に過ごす時



#### レディースとメンズ向けのユンハンスの機械式時計： Meister Damen AutomaticとMeister Chronoscope

お互いのために時間があることほど素敵なことはありません。このことはクリスマスだけでなく、一年中当てはまります。こうした思いを手首にお届けしたのが、ユンハンスのMeister Damen AutomaticモデルとMeister Chronoscopeモデルです。この2本の時計は、一方では一体感を象徴しながら、他方ではそれぞれのパートナーの個性を象徴しています。

一体感は機械式自動巻ムーブメント、明確なデザイン表現、類似した色調のダイアル、そして同じマキアートブラウンのオストリッチレザー（ダチョウ革）製ストラップといった共通点に見られます。一方、個性はそれぞれのモデルの機能やサイズの違い、そして時計愛好家たちが「フェイス部分」と表現するダイアルに表現されています。



#### Meister Damen Automatic – エレガントでシンプル

Meister Damen Automaticはエレガントさと完璧なプロポーションが魅力です。サンレイブラシ仕上げが施されたグリーン色のダイアルには、ビジュアルのアクセントが付けられていて、ユンハンスのロゴにも反映されていて、6時位置にインデックスマーカーの代わりとしてロゴが配置されています。シンプルなレンズ形で直径33.1mmという適度なサイズ、35gと非常に軽く、細い手首にも素晴らしい着け心地です。これには手袋のように柔らかいオストリッチ

レザー製ストラップも一役買っていて、クイックリリースシステムのおかげで、工具を使わずに文字通りあっという間にストラップを交換することができます。異なるカラーのストラップを追加すること

で、時計をそれぞれの装いに合わせることができます。シースルーバックを透して見られる自動巻ムーブメント キャリバーJ840.1は、38時間のパワーリザーブを備え、時刻を忘れた場合でも正確に表示します。

### Meister Chronoscope – エレガントでスポーティ

Meister Chronoscopeは、細長いクロノグラフ・プッシュャーがスリムでスポーティな外観を際立たせている繊細な2パーツ構成のケースによって、スポーティであることが同時にとてもエレガントにもなれることを証明しています。サンレイ仕上げが施されたファアグリーンのダイヤルは、3時、6時、9時、12時位置に配されて



いる洗練されたアプライドインデックスと凹型の積算計が、ドーム型ダイヤルの立体感を強調しています。クロノグラフ秒針とドーフィン形の分針は、分目盛に向かってわずかに下方にカーブしており、ダイヤルの輪郭に沿っています。一貫して考えられているデザインが、ユンハンスのデザイナーの細部へのこだわりを物語っています。覗き窓から眺めることができるクロノグラフムーブメントのキャリバーJ880.1には、48時間のパワーリザーブを好きなだけ延長できる自動巻き機構が備わっています。これは、時計を定期的に着用している場合に機能するので、パートナーが着けるのもいいアイデアです。一緒に過ごす時はいつでも最高の時間だからです



**Meister Damen Automatic**

27/3343.00

自動巻ムーブメント、ステンレススチール ケース 直径33.1 mm、シースルーバック、両面反射防止コーティングドーム型サファイアクリスタル、簡単にストラップを交換できるクイックリリース機能付きオストリッチレザー（ダチョウ革）製ストラップ、5気圧防水



**Meister Chronoscope**

27/4222.02

自動巻ムーブメント、ストップセコンド付きクロノスコープ、ステンレススチール ケース 直径40.7mm、シースルーバック、両面反射防止コーティングドーム型サファイアクリスタル、オストリッチレザー（ダチョウ革）製ストラップ、5気圧防水

詳細について、下記にお問い合わせください:

Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co.KG

International Public Relations

David Dimkovski

Geißhaldenstr. 49

D-78713 Schramberg

Tel. +49 74 22 / 18-341

E-Mail: [presse@junghans.de](mailto:presse@junghans.de)

#### ユンハンスについて

160年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが1861年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツワルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに1903年に、ユンハンスは3000人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーで、日に9,000本以上の時計を生産していました。精密なムーブメントの開発によって、1956年には世界第3位のクロノメーターメーカーとなりました。1960年代から1980年代にかけては、クロノメーターを使って数多くの国際大会にたずさわりながら、数多くの技術開発により、スポーツにおける時間計測の分野での基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009年にはシュランベルクの実業家ハンス=ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代を迎えています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品の考案、デザイン、設計、製造を、歴史ある本社内で行っています。2018年には本社にあるテラス式建物が100周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツワルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930年代以来、このコレクションの中心をなしてきたMeisterシリーズ、あるいは1956年からスイスのデザイナー、マックス・ビルとのコラボレーションによって生まれたmax billシリーズのタイムピースはその好例です。1990年、ユンハンスは最初の電波式腕時計を発明し、高精度を目指した時計製造のマイルストーンを達成しました。今日、メイド・イン・シュランベルクのテクノロジーは、新世代のアプリ連動型電波式ソーラームーブメントによって、快適な時、精度、エネルギー効率性に関して最高のレベルを実現しています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現のFORMコレクションがその例で、ドイツのインダストリアルデザインがあらわれています。160年以上にわたり、ユンハンスのタイムピースは、時計製造の伝統に、革新的なデザインや最新のテクノロジーを結び付けてきました。というのも個性は腕元から始まるからです。